

ボイラー・圧力容器地震対策の手引き
平成 17 年 1 月 11 日発行 改訂版 正誤表

70 頁

(誤)

6.2.2 感震器の性能、構造等

6.2.2.1 性能

周期が 0.3 秒, 0.5 秒及び 0.7 秒のそれぞれにおいて, 100 ガルで加振したとき、10 秒以内に作動せず, 170 ガルで加振したとき, 5 秒以内に作動する性能を有するものであること。

【解説】

感震器の設定加速度範囲は 100～170 ガルとする。

...

なお、JIS S 3021（油だき温水ボイラー）には、周期が 0.3 秒, 0.5 秒及び 0.7 秒のそれぞれにおいて、

- ① 100cm/s²{100 ガル}で加振したとき、10 秒以内に消火装置が作動しないこと。
- ② 170cm/s²{100 ガル}で加振したとき、10 秒以内に消火するか、又は 5 秒以内に燃料を遮断し、かつ、落下可燃物の着火性試験によって、発炎着火しないこと。

なお、消火するまでの間に異常燃焼しないこと。

また、各部に破損、変形などが生じないこと。

と示されている。

(正)

6.2.2 感震器の性能、構造等

6.2.2.1 性能

水平振動の周期が 0.3 秒, 0.5 秒及び 0.7 秒のそれぞれにおいて, 100 cm/s^2 (ガル) で加振したとき, 10 秒以内に消火装置が作動せず, 170 cm/s^2 (ガル) で加振したとき, 10 秒以内に消火する性能を有するものまたは瞬時に燃料を遮断し, かつ, 落下可燃物の着火性試験によって, 発炎着火しない性能を有するものであること。

【解説】

感震器の設定加速度範囲は $100 \sim 170 \text{ cm/s}^2$ (ガル) とする。

...

なお, JIS S 3021 : 2017 (油だき温水ボイラ) の表 5—一般品質性能には以下のように示されている。

表 5—一般品質性能 (抜粋)

項目		品質特性
振動	灯油の消費量が 70kW 以下で, 給湯用熱交換器容量が 50L 以下のもの	水平振動の周期が 0.3 秒, 0.5 秒及び 0.7 秒のそれぞれにおいて, 次を満たさなければならない。 a) 100 cm/s^2 で加振したとき, 10 秒以内に消火装置が作動してはならない。 b) 170 cm/s^2 で加振したとき, 10 秒以内に消火しなければならない。 なお, 消火するまでの間に異常燃焼してはならない。また, 各部に破損, 変形などが生じてはならない。
	上記以外のもの	水平振動の周期が 0.3 秒, 0.5 秒及び 0.7 秒のそれぞれにおいて, 次を満たさなければならない。 a) 100 cm/s^2 で加振したとき, 10 秒以内に消火装置が作動してはならない。 b) 170 cm/s^2 で加振したとき, 1) 又は 2) の規定による。 なお, いずれの場合も, 消火するまでの間に異常燃焼してはならない。また, 各部に破損, 変形などが生じてはならない。 1) 燃料を遮断し, 10 秒以内に消火しなければならない。 2) 瞬時に燃料を遮断し, かつ, 落下可燃物の着火性試験によって, 発炎着火してはならない。